

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年2月10日(2005.2.10)

【公表番号】特表2000-513352(P2000-513352A)

【公表日】平成12年10月10日(2000.10.10)

【出願番号】特願平10-502632

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 39/145

A 6 1 K 9/127

A 6 1 K 31/00

A 6 1 K 38/00

【F I】

A 6 1 K 39/145

A 6 1 K 9/127

A 6 1 K 31/00 6 3 1 L

A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月18日(2004.6.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年6月18日

特許庁長官 殿



1. 事件の表示

平成10年特許願第502632号

2. 補正をする者

住所 イスラエル国 91042 エルサレム, エボティンスキ
ストリート 46

名称 イスーム リサーチ デベロップメント カンパニー オブ ザ
ヘブライ ユニバーシティ オブ エルサレム

国籍 イスラエル国

3. 代理人

住所 〒540-6015 大阪府大阪市中央区城見一丁目2番27号
クリスタルタワー15階

氏名 (7828) 弁理士 山本 秀策



電話(大阪) 06-6949-3910

4. 補正対象書類名

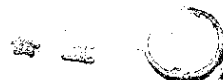
請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。



請求の範囲

1. インフルエンザウイルスに対する哺乳動物被験体の免疫化に使用するためのリポソームワクチン組成物であって、
リポソームの懸濁物であって、その中にカプセル化された、
該被験体において免疫応答を刺激するのに有効なインフルエンザサブユニット抗原、および
該免疫応答を増強するのに有効な少なくとも1つの免疫刺激サイトカインを有する、懸濁物、
を含有する、組成物。
2. 前記抗原および前記サイトカインが、前記組成物中で同じリポソームに同時カプセル化されている、請求項1に記載の組成物。
3. 前記抗原および前記サイトカインが、前記組成物中で異なるリポソーム集団にカプセル化されている、請求項1に記載の組成物。
4. 前記インフルエンザサブユニット抗原が、インフルエンザウイルスのHA（赤血球凝集素）およびNA（ノイラミニダーゼ）ウイルス表面タンパク質、またはそれらの抗原性変異体を含む、請求項1に記載の組成物。
5. 前記サイトカインが、IL-1、IL-2、IL-4、IL-6、IL-7、IL-12、IL-15、IFN- γ 、およびGM-CSFからなる群から選択される、請求項1に記載の組成物。
6. 前記サイトカインがインターロイキン-2（IL-2）である、請求項5に記載の組成物。
7. 前記サイトカインが、顆粒球マクロファージコロニー刺激因子（GM-CSF）である、請求項5に記載の組成物。

8. 前記サイトカインが、IL-2およびGM-CSFの組合せである、請求項5に記載の組成物。

9. 前記リポソームが、少なくとも70モルパーセントのジミリス Toil (dimyristoyl) ホスファチジルコリン (DMPC) を含む、請求項1に記載の組成物。

10. 前記リポソームが、約 $0.25\mu\sim 5.0\mu$ の平均直径を有する大きな多層状小胞である、腹腔内、筋肉内、または皮下投与に使用するための、請求項1に記載の組成物。

11. 前記リポソームが、約30~80nmの平均直径を有する小さな単層小胞である、静脈内投与、鼻腔内投与、または筋肉内投与に使用するための、請求項1に記載の組成物。

12. 前記リポソームが、750と10,000ダルトンとの間の分子量を有するポリエチレングリコール (PEG) 鎖で誘導体化された極性の頭部基を有する1~25モルパーセントの脂質を含む、請求項11に記載の組成物。

13. 前記組成物が、投与後6ヶ月までに前記被験体において100%の抗体陽転を産生するのに有効である、請求項1に記載の組成物。

14. 前記組成物が、投与後9ヶ月までに前記被験体において100%の抗体陽転を産生するのに有効である、請求項13に記載の組成物。

15. インフルエンザウイルスに対する哺乳動物被験体の免疫化に使用するためのリポソームワクチン組成物であって、

該被験体において免疫応答を刺激するのに有効なインフルエンザサブユニット抗原、および

該免疫応答を増強するのに有効な少なくとも1つの免疫刺激サイトカイン

を含む組成物であり、ここで、該抗原および該サイトカインの少なくとも一方がリポソーム懸濁物内でカプセル化され、そして該組成物は、投与後6ヶ月までに該被験体において100%の抗原陽転を産生するのに有効である、組成物。

16. 前記組成物が、投与後9ヶ月までに前記被験体において100%の抗体陽転を産生するのに有効である、請求項15に記載の組成物。